

教えて先生！

## 小寺 実のQ&A



### 第1回 「右手の震え」

Q1.

最近、右手が震えます。  
どんな病気が考えられますか。

A1.

手の振戦(震え)は、甲状腺機能亢進症、本態性振戦、パーキンソン病で認められます。

甲状腺機能亢進症では、振戦は両手で細かく見られるほか、体重減少や発汗、動悸などの症状を伴います。

本態性振戦は、文字を書くなど何らかの動作時に生じます。両手に起こりますが、特に片側の手で目立ちます。膝に手を置いているような安静時や飲酒で軽減します。

パーキンソン病は、本態性振戦とは逆に、安静時に丸い薬を丸めるような振戦を認めますが、箸やコップを使用する際に止まります。必ず片側から始まるのが特徴です。なおパーキンソン病は、振戦のほかに動作が遅くなる症状が必ず出ます。

Q2.

どのように診断し治療するのでしょうか。



A2.

甲状腺機能亢進症は採血で確認します。

この病気は中状線機能を抑制する薬で良くなります。

本態性振戦の治療はベータブロッカー(降圧剤)が有効です。

パーキンソン病は、神経内科専門医により容易に診断・治療が可能です。

手の震えでお困りの方は、是非一度  
専門医を受診されることをお勧めします。

